

我海軍側見解

伯利西爾時報

SE 條項援用に

米國政府愈々意向を表明

責任は日本に轉嫁

三萬五千噸以上の主力艦建造の立前

六全大會漢口で續行
蔣介石大元帥に就任

海軍燃料廠實驗部新設
神奈川縣大船附近に

統制機、國家總動員行便令を一
手に押収することとなる旨であ
る。大本營が設置された。まことに
軍事委員會を廢止しその代り
に參軍隊を設け支那全體を十二
管區に分ち若干名を各管區に
配置して今まで空軍を編成せし
め一方管区内には國民黨、共產
黨の組織と對立せんとして國民
黨の組織和と民意暢達を計
り且戦宣戰和等の決議權を持た
せるものと見られる。從つて

若し同案が正式取扱われるば參

軍院は既に決定をしたる非常時

大艦行便に當つては將の責任傳

遞機關ともなり又共產黨の持論

たる國民黨一黨獨裁に對する非

難の統合となり共產黨の策動

拒絶と國共兩黨の抗爭を化防

止の點最もなるべく將に一事

兩得の巧妙なる政策に出でんと

するものである

是れが運用を適切に有効ならしめ第

二が運費を節約するやうしばく

中内閣訓令の形式により各會

指令を認する事として十一時散會

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

新設厚生省の
存在意義

社説

戦争が有ると、其後に伴ふ問題は、軍人の待遇であり、戦勝国の名譽あり功勞ある国民を、何う待遇して不平無きを得さしむるかは國家としては重大な問題でなくてはならない。

他國は兎に角として、我が日本に就て考ふるなら、明治廿七年八月一日清開戦争の歸徳軍人の待遇に就ては、國內の經濟状態が未だ幼稚で人口も四千萬程度であつたから、働きはすれば食つては困難はなく、満足を考へる時代でもなかつたので、戦争から離つた軍人も何等不平なく郷里で家業に勵しんだと云ふ、至極單簡だ。

ところが其の後十年を過ぎての日露戦争に至ると、國內の人口も増加せる上に經濟状態が漸く複雑化し、それに國民が十年間離れていた開拓地が膨らむと、戦後の施設を爲さねばならないのだ。即ち歐洲大戦後における英米等の苦心其れである。

然ば今回の日支事變の如き場合は何なるかと云ふに就ては、戦宣の布告こそないが事實上は、戰争の如きあることを、國の廣大なることの例少く、且つ長い間の知識を覺悟せざるを得ない丈に於ける英米等の苦心其れである。

兎に角の國でも、他國と戰争があつて生命を失つた將士に對しては、戦後生活に困らぬ者水野龍氏等の計畫に係る實現であつたのである。

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

五十二

五十三

五十四

五十五

五十六

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

九十一

九十二

九十三

九十四

九十五

九十六

九十七

九十八

九十九

一百

一百一

一百二

一百三

一百四

一百五

一百六

一百七

一百八

一百九

一百十

一百十一

一百十二

一百十三

一百十四

一百十五

一百十六

一百十七

一百十八

一百十九

一百二十

一百二十一

一百二十二

一百二十三

一百二十四

一百二十五

一百二十六

一百二十七

一百二十八

一百二十九

一百三十

一百三十一

一百三十二

一百三十三

一百三十四

一百三十五

一百三十六

一百三十七

一百三十八

一百三十九

一百四十

一百四十一

一百四十二

一百四十三

一百四十四

一百四十五

一百四十六

一百四十七

一百四十八

一百四十九

一百五十

一百五十一

一百五十二

一百五十三

一百五十四

一百五十五

一百五十六

一百五十七

一百五十八

一百五十九

一百六十

一百六十一

一百六十二

一百六十三

一百六十四

一百六十五

一百六十六

一百六十七

一百六十八

一百六十九

一百七十

一百七十一

一百七十二

一百七十三

一百七十四

一百七十五

一百七十六

一百七十七

一百七十八

一百七十九

一百八十

一百八十一

一百八十二

一百八十三

一百八十四

一百八十五

一百八十六

一百八十七

一百八十八

一百八十九

陸軍二千萬圓突破

獻金

【東京一日同盟】支那事變
以來、陸軍に寄せられた
銃後の赤誠は或は精神的に
現はれ、當局者を
感動させてゐるが特に其の
獻金總計は途に三千万圓を
突破した、即ち三月三十一
日現在の獻金總計
三千百万八百八十三圓廿七錢
内諱恤兵金八百五十七萬二千七十一圓四十錢、
國防獻金一千七十五萬六千五百廿九圓一錢、
學藝技術獎勵費百七十七萬二千八百十二圓七十五
錢、慰問袋一百六十万七千四百十一個、他に銀紙或
は各種兵器、車輛等

ファシスト訪日團體の舉れ

聖上・勳章授與を御沙汰 使節團長パウリッチ侯外一同

うれぐ捧示して感激

五等瑞寶章
使節團長秘書侯外イサンテリ
勳五等光旭日章

山本博士の陳情も

文部省教授會を支持

三等瑞寶章
同金庫及保険機關代表
ボムバルド

又出た荒鷲志願

万平ホテルの子息

胸躍らせて「行かせて下さい」

「上海一日同慶」

妻を故郷に送り、
渡米留學中ヤ

ヨキ一娘と結婚

山西のジエムス・林

太原城外で群衆に踏み潰される

重婚バレて故郷に歸つた

山本博士の哀れ

家日抗未のれ

又出た荒鷲志願

万平ホテルの子息

胸躍らせて「行かせて下さい」

「上海一日同慶」

妻を故郷に送り、
渡米留學中ヤ

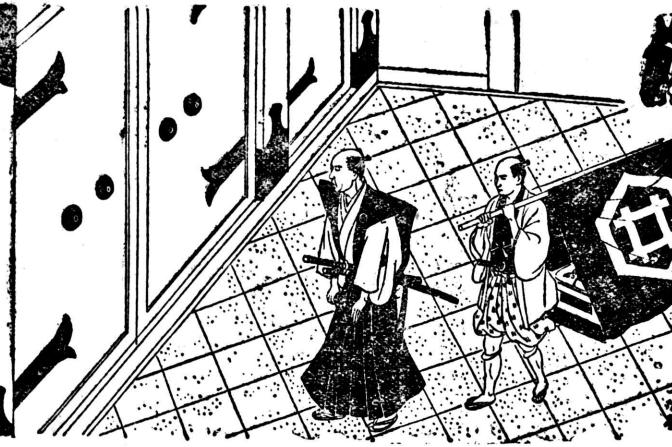
ヨキ一娘と結婚

山西のジエムス・林

太原城外で群衆に踏み潰される

農業モラトリアム

更に六十日間延期



「多湖外記」は、主人能登守の堅き決心のほどを聞き、諭めればばと止まることはあるまいと思ひ、「よくぞこれまで御勤めあそばしました。本年六十二歳にして御存外記も、上野介殿の如き無縫者に出会ひたせば二言と言はせざるに申出でん」とおどりを以て武名を輝かし、太閤殿陛下に所の御用をあそば、今日も龜山の御用と申す精神も残りをります。口も申すことをくヒタ／＼と進む今も申すことくヒタ／＼と進む直ちに転て捨まする、然に未だ御君年の殿がこれまでに忍はれしは恐ながら貰すべき御事と存

忠臣藏

この事、一体何れほどの進物を膾つてあるかと併りの者を呼び出して尋ねると至つては輕少、金子は壹圓も出来てない、茲において外記はお括りに申附けて繪図を呈上、其の茶臺二個に小判で五百兩入れ、外に三百兩腰中してその夜の四ヶ項にはらの進物を局臺に載せて外記が附き添ふて新し橋の邸を出て奥服櫻内の吉良の邸へ來やがて外記は門を打たたき「御番、願ひます」斯う聲をかけると門番が

「ハ、イ、諒井の使者が來よ」
「取次くには及ばねえ、あんなの
のわからぬ大名は無え、大切
役を勤めながら我れ／＼門番に
何の沙汰もない。あんな奴の取
するには及ばぬ、棄とけ、
と云つた

繁子を悼む 三好覺
草の葉の露の半の散る如くもろこしは敢なく過ぎしものかな
覺えずも涙こぼるゝうつし繪には
ゝ笑む繁子今は在らずか
空觀ふ雲のひまより光る星繁子の
魂とじつと見つむる

反面

仕事着の昔を出さるゝその間をば
讀書に親しみそしられにけり
捨ばむの心やかなし自分が言ひ分あ
げづらひもせずトマテの花見る
冷やかな兄のまなざし背に受けて
香りの匂いを嗅ぐ

朝の山路

かの山の鳥啼く
名も知らぬ大樹に蔓草からみつ
山のバカシは花咲き居たり
空の青あくまで清し家土産に山
の株振りて歸れり
モンテアルトの夜

山菊
つき
短歌
みどり葉の中なる珠の珈
青き珠紅き珠實り三月の
海に見し蟹のつめより尙
夕焼けの雲の色より尙あ
ぶらじる人種の如く一
うす青き葉蔭にとまり微
いつらず葉蔭に在らず
午後の乗合を待つとまつ
公園の女の子等の走り飛

興世山產志
珈琲の紅きをみつゝ吾が自動車走る
珈琲烟は朝日に光る
あかく珈琲の實はみのりたりけり
かくわが瞳にうつる珠の珈琲
枝に珈琲は實る青と赤黒
風の吹けばうごけり青き珈琲
蝶々はじとみとしきうだがさりしに
とんの木蔭に居れば生徒等歸り来る
び脚の長きを見つゝ吾が居る

社告
今般左記の如く支社員出張仕るべ
く候間宜しく御高配被下度候
アグードス驛、サンタ・ク
ルス・ド・リオ、バルド驛
セルケラ、セザール驛
アバレー驛
茂木源太郎
ランシャリヤ駕
バラグワス一驛
オウリニヨス驛
北バラナ一帶

繁子を悼む 三好 順

夏の暁
葛西

豆 欣 與 世 山 麥 嘉

社
説

三百錠入り貳拾五針各地有名薬店又は日本人商店に販賣す

元寶發製造大河內藥化學研究所
Rua Santo Amaro, 132
Caixa Postal 1082 - São Paulo

An illustration showing a box and a bottle of Poly-Vitamina vitamins. The box on the left features a black and white photograph of a person working in a field, possibly harvesting. Below the photo, the text 'COMPRIMIDOS POLY-VITAMINA' is printed in large, bold, capital letters. The bottle on the right is a dark glass jar with a wide mouth and a ribbed cap. It also has 'COMPRIMIDOS POLY-VITAMINA' printed on its label in large, bold, capital letters. Both the box and the bottle have smaller, illegible text at the bottom of their labels.

今 々 工 微生物療法

どんな栄養素・滋養物も消化吸收されなければ無効果

こゝに胃腸治療・栄養充實の一重作用あり

胃腸を強化せよ・どうしても肥ふ云ふ人は殆ど胃腸機能の衰弱者

れな
いと

こんな御馳走も消化・吸收されなければ無駄であります。どうしても肥れない云ふ人・滋養剤・栄養剤をあびる程服んでも大した効果がない云ふ人……こう云つた人の多くは冒腸機能の薄弱者であります。殊に肺・肋膜患者の如く栄養充實を特に必要とするものにこの悩みが多いのであります。例へば食事を見ただけでもお腹が一杯になつたり食事の後で胸やけが起きたり、空腹になるご胃部が痛んだり、腹が張つたり、下痢や便秘に悩まされるご云ふ風の徵候は大底胃腸が悪いご云ふ證據であります。

胃腸病治療法は複合ヘーフ工菌齊
タミーナによりて一新されました

下痢・便秘は一剤で健康便に復し腸内の腐敗醣酵を利かし、錠剤ボリヴィタミンA獨特の細胞原形質賦活作用によつて衰弱した胃腸組織に再生の活力を與へ、更に進んで消化吸收作用を高め全身機能に栄養・増血・殺菌の綜合的衰弱回復・虚弱體質改造の効果を發揮します

元寶發製造大河內藥化學研究所
Rua Santo Amaro, 132
Caixa Postal 1082 - São Paulo